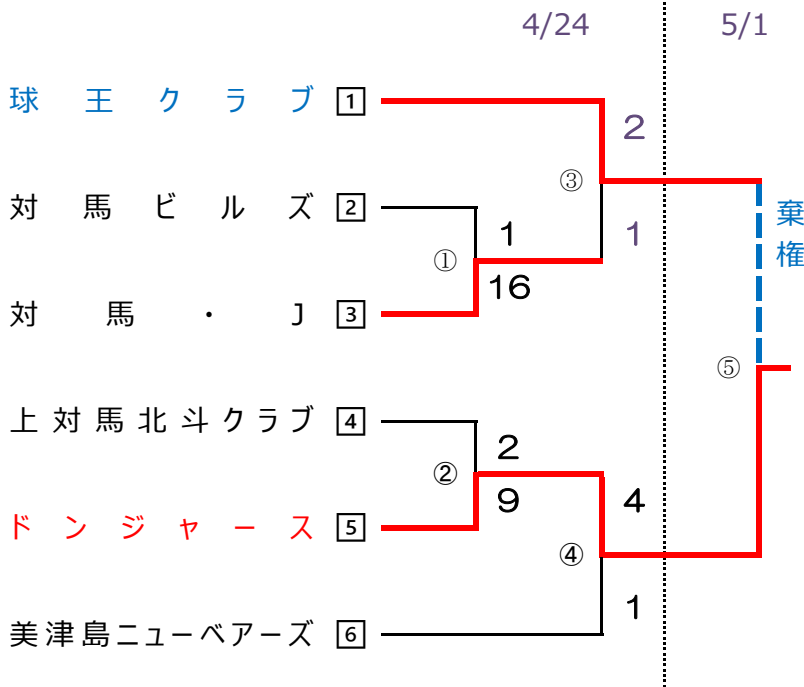


日本スポーツマスターズ2022軟式野球 対馬予選会の結果

会期＝令和4年4月24日(日)、5月1日(日)

会場＝美津島野球場



予選会実施上の取り決めで、一回戦からのチームが準決勝を勝利して決勝戦に進出した場合は当日の5試合目に行なうか、次週(5/1)に行なうかを選択できる。該当チーム(ドンジャース)は次週の開催を要望したが、対戦相手の球王クラブが5月1日の決勝戦を棄権した。優勝のドンジャースは、5/21から波佐見町で開催の県大会に出場する。

【一回戦】 08:57～ 1時間18分 五回コールドゲーム

対馬ビルズ	000 01	1
対馬・J	029 5X	16

【三】梅野、阿比留
【二】坂上、原田

対馬Jが三回は打者15人。四回は打者10人の猛攻による、14長短打14打点(あとの2点は捕逸と暴投)で五回コールド勝ちした。

初回は3四球による二死満塁を逸した対馬Jは二回に2連続の四球から江口の中犠飛と一宮の右中間適時打で2得点。三回も先頭四球から坂上の左越え適時二塁打。林田が安打の一三塁に井の適時打、さらに阿比留の左中間三塁打で二者を還し、多田も続き江口の右安打まで6連打。一死後に村井、原田、坂上の3連打に捕逸や暴投生還で得点し、この回9安打3四球で9得点。四回にも敵失から村井が内野安打の一三塁に原田のエンタイトル打に坂上の右犠飛や林田の適時打に多田の2点打など4安打で5得点。

対馬ビルズは今大会が新規登録参加。四回まで散発2安打で三進できなかったが、五回二死後に梅野が右線三塁打し暴投生還の

【対馬ビルズ】 打安点球

⑧ 梅野 直樹	3 1 0 0
④ 扇 龍二	1 1 0 2
③ 松本 浩毅	2 0 0 1
⑥ 鎌田 成二	2 0 0 0
① 山田 聡	2 1 0 0
⑦ 陶山 荘太郎	2 0 0 0
⑨ 松本 崇史	2 0 0 0
⑤ 神宮 保夫	1 0 0 0
H 多田 智樹	1 0 0 0
② 松尾 吉範	2 0 0 0
犠0振3残5併	18 3 0 3

【対馬・J】 打安点球

② 江口 豊隆	4 1 1 0
⑥ 一宮 努	3 1 1 1
③ 村井 英哉	4 2 1 0
⑤1 原田 武茂	2 2 1 2
⑧ 坂上 仁志	2 2 2 1
⑨ 林田 芳和	4 2 1 0
①5 井 浩	2 1 1 2
⑦ 阿比留新吾	1 1 2 3
④ 多田 直樹	4 2 4 0
犠2振0残9併0	26 14 14 9

【審判】多田康佑、竹下智之、平松馨、川崎仁

1得点に終わった。

【一回戦】 10:36～ 1時間06分 五回コールドゲーム

ドンジャース	201 60	9
上対馬北斗クラブ	000 11	2

【本】築城
【二】津屋、高田

初回のドンジャースは先頭内野安打と井上の捕犠打悪送球と死球の二死満塁に中島の中前2点打で優位に立つと、三回は左越え二塁打の津屋を村瀬の左前連打で還し加点。四回には2敵失四球の一死満塁が投ゴロ本封の二死後に中飛失で2点。悪送球で1点と加え、築城の中越えランニング3ランなどで9打者で6得点。

上対馬北斗は三回まで二度の三塁走者を選せず9点差を付けられた四回に敵失からの二死三塁に米田が中安打。五回は二死後に平間の内野安打と中原が左前打の一三塁に、高田の右線二塁打で二走が還ったが、続く二三塁は凡打に終わり7点差のコールドで敗戦した。

【ドンジャース】 打安点球

⑦ 永留 和秀	3 1 0 1
⑤ 井上 誠一	3 0 0 0
⑥ 津屋 敏彦	3 1 0 0
② 村瀬 裕亮	2 1 1 1
⑧ 築城 貴憲	3 1 3 0
⑨ 中島 重幸	3 1 2 0
③ 武田 浩二	3 1 0 0
④ 永留 潤也	2 0 0 0
① 阿比留正臣	3 1 0 0
犠2振2残5併0	25 7 6 2

【上対馬北斗】 打安点球

⑥ 財部 晃	1 0 0 1
④ 平間 友則	3 1 0 0
⑤ 中原 恵一	3 1 0 0
③1 高田 博信	3 1 1 0
⑧ 財部 仁	3 0 0 0
①3 佐護 正己	2 0 0 0
② 米田 周市	2 1 1 0
⑨ 杉村 修一	2 1 0 0
⑦ 扇 伸秀	1 0 0 1
犠1振1残6併0	20 5 2 2

【審判】井上智仁、松尾吉範、扇祥喜、神宮保夫

【準決勝】 12:03～ 1時間30分 延長八回はタイブレーク戦

対馬・J	000 100 00	1
球王クラブ	010 000 01x	2

【二】小宮

前試合で14長短打14打点の対馬Jもこの試合は1安打のみ。四回に先頭死球と敵失で無死一三塁に遊ゴロ本塁死後に井が中安打し二走を還したが、二回と三回に四球と敵失等で得た得点機には一打が出ず、無死一二塁のタイブレーク戦も上位三人が倒れた。

先制したのは二回の球王ク。一死後に中安打の松村が小宮の左中間二塁打で一塁から生還。五回に松島、武末が安打で塁を埋めたが投手牽制球で二塁上死で追加点機を逸すると、同点の最終七回にも松村の内野安打(二盗)に小宮への申告敬速の一死一二塁のサヨナラ機も投ゴロ三封と遊ゴロに倒れ、延長戦となった。

無死一二塁の八回裏、武末の投前バントが内野安打となり満塁に縫田の当たりは左中間を抜いた。

【対馬・J】 打安点球

② 江口 豊隆	4 0 0 0
⑥ 一宮 努	3 0 0 1
③⑨ 横松 修	4 0 0 0
⑤ 原田 武茂	1 0 0 2
⑧ 坂上 仁志	2 0 0 0
⑨ 林田 芳和	3 0 0 0
3 高島 隆宏	0 0 0 0
① 井 浩	2 1 1 1
⑦ 阿比留新吾	3 0 0 0
④ 多田 直樹	3 0 0 0

犠1振2残7併1 25 1 1 4

【球王クラブ】 打安点球

⑧ 武末 太	4 2 0 0
① 縫田 幸広	3 1 1 1
② 山代 毅	3 0 0 0
③ 小田 劍生	3 0 0 0
④ 洲河 直樹	3 0 0 0
⑥ 松村 繁文	3 2 0 0
⑨ 小宮 憲司	2 1 1 1
⑦ 松島 哲也	3 1 0 0
R 中庭 俊樹	0 0 0 0
⑤ 原田 洋光	3 0 0 0

犠0振0残8併0 27 7 2 2

【審判】平松馨、多田康佑、竹下智之、杉村修一

【準決勝】 13:50～ 1時間42分

ドンジャース	000 300 1	4
美津島ニューベアーズ	000 001 0	1

【二】築城、津屋田中

ドンジャースは初回に井上の安打と敵失の一死一二塁に後続が無く、二回は2連続四球に三飛併殺で先制機を逸すると、四回一死後に築城が右越えエンタイトル二塁打。二ゴロ三進後に死球の二三塁に二飛失で先取点を挙げた後の二三塁に阿比留が中前に2点打。六回に築城の安打から三振振り逃げで作った二三塁は三ゴロで本塁死。2点差に迫られた七回は敵失と津屋の左越え二塁打から遊ゴロ本塁死の二死二三塁に築城が試合3安打目の中前タイムリー打で突き放した。

美津島ニューベアーズは二回の三者凡退を除いて、五回までに4四死球に小川の安打などで三度の得点機を作ったが後続が無く、六回に先頭田中の左中間二塁打と小川の2打席連続安打(二盗)の一死二三塁に代打・西の内野ゴロの間に三走が還った1点だけに終わった。

【審判】扇祥喜、武本龍太郎、対馬J、川崎仁

【ドンジャース】 打安点球

⑦ 永留 和秀	4 0 0 0
⑤ 井上 誠一	4 1 0 0
⑥ 津屋 敏彦	4 1 0 0
② 村瀬 裕亮	4 0 0 0
⑧ 築城 貴憲	4 3 1 0
⑨ 中島 重幸	3 0 0 0
③ 武田 浩二	1 0 0 2
④ 永留 潤也	2 0 0 1
① 阿比留正臣	3 1 2 0

犠1振2残8併1 29 5 3 3

【ニューベアーズ】 打安点球

⑨④ 小島 一輝	3 0 0 0
H 桑原 大輔	1 0 0 0
② 黒岩 到	3 0 0 1
① 田中 淳也	3 1 0 0
⑤ 小島 和豊	3 0 0 0
③⑦ 小川 寿浩	3 2 0 0
④ 西川 典夫	2 0 0 0
9 舍利倉宏幸	0 0 0 0
H9 西 知洋	1 0 1 0
⑥ 村瀬 恵二	2 0 0 1
⑧ 波田 正嗣	0 0 0 1
H3 中庭美智雄	0 0 0 2
⑦⑧ 平松日出男	1 0 0 0

犠2振1残7併0 22 3 1 5

5月1日(日)10時開始の決勝戦を、球王クラブが棄権したことで、ドンジャースが県大会への代表となる。

優勝チームの集合写真は、ありません